

# 額部小だより

本気で やさしく 元気よく

No. 13 平成29年1月31日

富岡市立額部小学校

TEL 62 - 0737

## 書き初め大会から 1月11日(水)

3学期2日目の1月11日(水)は校内書き初め大会でした。1, 2年生は教室で硬筆を3年生以上は体育館で毛筆による作品を仕上げました。この日の体育館はとても冷えており、ジェットヒーターをつけて取り組みました。

書き初めの由来は、平安時代の宮中で吉書初め(きっしょぞめ)として行われていた行事が、江戸時代になると一般庶民が勉強する場であった寺子屋を通して次第に広まっていったようです。

吉書初めでは、元旦に新年初めて汲んだ(くんだ)水=若水(わかみず)ですり込んだ墨を使い、恵方(えほう)を向いて詩歌を書いていたとの事。

恵方とは、その年の干支(えと)を基本として「吉の方向」を定めたものを言います。今年(今年)は北北西やや北。これが、江戸時代に庶民に広まったのが「書き初め」の由来です。

1月2日は「事始め」と言われる日であり、この日に始めると何事も上達が早くて長続きするとの言い伝えから来ています。

どんど焼きが行われる1月15日までに筆で書くのが、書き初めになります。

そしてこの書き初め、学校に宿題として提出して終わりではありません。書き初めの正しい捨て方(処分方法)もあることをご存知でしたか?

正月も過ぎて、小正月である1月15日に「どんど焼き」に書初めを持って行き、神棚に1年間飾っておいた古いお札などと一緒に焚き上げる(燃やす)のが正式な書き初めの処分の仕方です。ちなみに、書き初めや古いお札の燃えた炎が天高く舞い上がれば上がるほど「書が上達する」と言われています。



写真は低学年硬筆(左上)  
高学年毛筆(右上)  
中学年毛筆(左下)



## 3学期の授業が本格化



冬休みもあけて給食も始まりました。子どもたちの休み気分もあっと今に吹き飛んで、3学期、学年最後のまとめの学習が本格化しています。写真は1年生の算数(左上)と2年生の国語(左下)、6年生の社会(右下)の授業の様子ですが楽しい雰囲気の中にも真剣なまなざしがもどっていました。3学期は本当に短い学期です。健康に気をつけて実りあるものにして欲しいと思います。



## 3年そろばん学習 1月24日(火)

1月24日(火)は地元の外部講師を招いて珠算教室が行われました。生活の中で使うことはほとんどなくなり、家にもない方が多くなっているのではないのでしょうか?子どもたちの中にも初めてそろばんに触れる児童もたくさんいたようです。たった2時間の授業でしたがあっという間に上達し、足し算と引き算をできるようになりました。まだ筆算や暗算の方がはやい人が多いのですが学年がすすみ、数を分解するようになると今日の学習が生きてくるのでしょうか。



## 避難訓練 1月20日(金)



1年間の締めくくりになる今回の避難訓練は火災を想定した予告無しの訓練でした。職員室から出火という設定でしたが、避難経路の選び方や避難場所など、子どもたちがどのように避難するのか興味深く観察してみました。

昼休みの最中、13時18分、突然火災による避難訓練を行う旨の緊急放送が入りました。校庭で運動していた子や次の掃除の準備をしている子など様々でしたが、それぞれが活動を停止して放送に集中して適切な行動がとれました。避難開始の指示があってから全員の避難が確認されるまでの所要時間は2分5秒。迅速に行動できました。(写真は校庭に避難する児童)